

高校生がボランティア活動で社会貢献

29日、区内高校に通う6人の高校生が、27日の大雨・強風により床上浸水の被害を受けた高齢者の家屋を清掃するボランティア活動を行いました。高校生たちは、浸水により浸ってしまった家電や家具の搬出や部屋の中に溜まった雨水の排水など、被災者の手助けに貢献しました。

27日に関東一帯を襲った記録的な大雨・強風において、杉並区でも冠水による道路の通行止めや浸水、雨漏りなどの被害が報告されています。

杉並区天沼に在住する遠崎さん宅では激しい雷雨により、床上10cmほどの浸水被害を受けました。1階のリビングルームにあった家電や家具の多くが水に浸かり、自力での片付けは困難であることから杉並ボランティアセンターにボランティア支援を要請しました。

依頼を受けたちょうどその時、ボランティア活動に参加しようと同センターを訪れていた都立杉並総合高等学校の男子生徒に対し職員が協力をお願いしたところ、「やってみよう」との返事を受けたため今回のボランティアが成立しました。



29日、午前9時に動きやすい服装で集合した男子高校生6人は、杉並区社会福祉協議会の職員と合流し、天沼にある遠崎さん宅を訪れました。「濡れたじゅうたんを干したいが、重くて持ち上げられない」とのことから、まずテーブルやソファ、観葉植物などを搬出し、横幅3メートルほどあるじゅうたんを干しました。また床の雨水も、塵取りや洗面器などで回収し、残ったものはタオルで吸水するなど排水しました。始めは受け身だった学生も、自ら家具・家電を元の位置に戻したり、指示を仰いだりするなど積極的に行動していました。



高校生ボランティアの活躍で、部屋の整理を進められた遠崎さんは、「自分たちだけではどうにもならなかったのが助かりました。本当にありがとうございました」と高校生に感謝の言葉を述べていました。

【問い合わせ先】

杉並区社会福祉協議会・杉並ボランティアセンター：03-5347-3939
総務部広報課：03-3312-2111（代表）